



2022年 3月号



全国福祉保育労働組合東海地方本部

〒456-0006

名古屋市熱田区沢下町9-7

労働会館東館405

TEL 052-881-2971/FAX 052-881-2998

e-mail fukuhotk@onyx.dti.ne.jp

発行責任者/越須賀舞



1面…地本委員会報告 2、3面…地本委員会報告/名物組合員 4面…地本委員会報告/カルトクイズ

fukuhotkで検索

仲間と語り繋がり開拓! 22春闘方針確立!

風光る

1月22日(土)午後、第29回地本委員会を東館ホールとZoomで開催しました。

地本委員会総数121名、委任状を含む出席者は61名以上・出席必要人数は41名のといふ、会場参加1人、Zoom参加76人、委任状35人、合計112人(執行委員等他の出席24人)で、コロナ禍の中ではあります、が、地本委員会は成立しました。

提案された第1号議案「22国民春闘方針案」、第2号議案「地本統一要求案」、第3号議案「スト権管理委員案」はすべて全会一致で採択され、「平和の特別決議」も採択されました。

[地本委員会]



挨拶する越須賀委員長
【委員長挨拶】
1月号の「座談会」の紹介をして、始まりました。

委員長挨拶は、風光る
状況だからこそ、繋がって
要求して声をあげていき
たいというのはここ2年間
ずっと思つて

いることです。改めて、一人ひとりが組合へ来ると自分の思いを聞いてもらえる、あの人の話が聞きたい・元気になる、ホツトムやきーとする、雑談が楽しいなど、組合活動は仕事と違つて『せねばならない』ものではなく、『仲間を感じられる』場だと実感しています。そんな場になれるよう、楽しい活動を大切にしていきたいなと思っています。今日は、是非、皆さんの発言で22春闘方針の提案の補強をしてもらつて、みんなで構えていきたいと思います」

私は一緒におつかい(カラス)で保育をしているペアの先輩が大好きだ。私が1年目の頃からお世話になります。今年でペアを組んで3年目になる。私にとってどんな面でも尊敬できる存在です。友のように一緒にバカやつた言つては失礼だが、毎日楽しく仕事が出来てるのは先輩のおかげだ。不安でいっぱいの1年目の時、目の前の保育に必死で分からないことがたくさん私のために、「分からぬ」ということが大切なんだよ」と声をかけてくれた。組合の活動に誘ってくれたのも先輩だ。難しい語彙役職に苦戦している時も同じ言葉を掛けてくれた。この一言でどれだけ救われたことか。焦つていた自分がホッとしたことを今でも覚えていました。

私は、今月号は、地本委員会での発言を紹介します。各分会で読み合わせ、仕事に組合活動、そしてブライベート。何事にも一生懸命で全力な先輩。そんな素敵な先輩に出会えたことにとても感謝している。保育園の子ども、保護者。そして、職場のみんなにも愛されている。みんなみんなにも愛されてしまつた。4月からは離れ離れになってしまったが、少しでも大好きだ。先輩のようになれるよう日々背中を追つて頑張つてきました。

風の音



(P.K)

[発言]

①社会館分会 比嘉地本
委員 非正規の仲間と共に
を作る組合活動

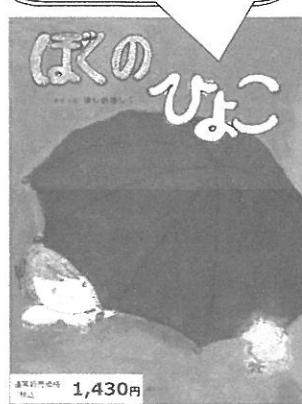
現在4名のパート職員が組合に加入している。以前はパート職員の要求が文書としてあっても、分会に当事者がいないことで「誰の要求?」となつていた。(分会の活動を知つてもらい、2名の加入から徐々に広がり現在に至る。正規・非正規の違いに、「なぜ? どうして?」から始まり、みんなで就業規則や制度を確認しながら矛盾を話し合い、21春闘で忌引き休暇と担任手当について要求した。

10月のZoom回文では、理事会は「忌引き休暇は週30時間以上勤務の者に限り、担任手当は考へて



(作画：かわらまち分会 樽見香)

昔、濱田さんが通っていた保育園で、不当解雇撤回闘争を闘った星野さん。絵本を出したそうで、休憩中に訴えに来て、その時のことを話してくれました。労働組合は仲間がいるところです！



いよね」「同一労働同一賃金についてもちゃんと理事側と話がしたい」など意見が出た。分会で要求討議を進めていきたい。

③かもめ分会 藤田葵地
本委員 処遇改善Ⅱについて

分会の中でどのように考えていこうかずっと悩んできた。学習会をしたりアンケートもしている。秋に理事会からは来年度より開始したいと言われ、懇談や説明会が続いている。かもめ本園はいつも人手不足だが、主任がどうにか体制を組んでなんとか回っている状態。

そこに処遇改善Ⅱの研修が入るとなるともっと大変で体制が細切れになる。理事会から、「姉妹園の三ツ井から、パートを送ればそれでいいよね?」と言われ、疑問を感じた。さらに23年度からの予

④かもめ分会 藤田葵地
本委員 処遇改善Ⅱについて

處遇改善Ⅱについて、
處遇改善Ⅱに変わることについての話もあつた。本当に可能なのか?立ち止まって考えたいが、短いスパンで説明会が開かれ、處遇改善Ⅱを受けたら変わることの感じで、こちらの思いが置いてきぼり。



(発)
①社会館分会 比嘉地本
委員 非正規の仲間と共に
する組合活動

現在 4名のパート職員
が組合に入っている。
以前はパート職員の要求
が文書としてあつても、
分会に当事者がいないう
とで「誰の要求?」となっ
ていた。分会の活動を知つ
てもらい、2名の加入から
徐々に広がり現在に至る。
正規・非正規の違いに、「
なぜ? どうして?」から
始まり、みんなで就業規
則や制度を確認しながら
矛盾を話し合い、21春闘
で忌引き休暇と担任手当
について要求した。

10月のZoom 団交では、
理事会は「忌引き休暇は
週30時間以上勤務の者に
限り、担任手当は考えて
ていない」との回答だった。
分会で、忌引き休暇は勤
務時間で差をつけず一律
に、担任手当については
命に向き合う職場だから
こそ担任を持つ責任の重
さを知つて欲しいとの思
いを聞き意思統一した。
要求を二つに絞り、継続
団交は対面で強い訴えを
し、忌引き休暇は全職員
に勝ち取る(?)ことができた。

また、担任手当は考え
ていらないという回答につ
いて、人材不足の深刻さ
や財源不足など情勢を知
るきっかけになつた。
団交でお互いの思いを



聞くことで少し歩み寄ることもできた。次回はどのような形で要求していくか話し合つていぐ。
組合活動で感じたことは、「寄り添うことが大きな力になる」ということ。

A black and white portrait of a man from the chest up. He is wearing a dark, conical helmet or cap. His eyes are visible through two circular holes in the helmet. He has short hair and is looking slightly to his left.

③かもめ分会 藤田葵地
本委員 処遇改善Ⅱにつ
いて

定だつた障害児保育も来年度からと早まつた。本当に可能なのか？立ち止まって考えたいが、短いスパンで説明会が開かれ、処遇改善Ⅱを受けたら変わる給与規定や就業規則についての話もあつた。もう始まつてしまふんだなという感じで、こちらの思いが置いてきぼり。

②のぎく分会 德田萌乃
地本委員 職場闘争



マスクの現物支給を勝ち取つた。

つも人手不足だが、主任がどうにか体制を組んでなんとか回っている状態。そこに処遇改善Ⅱの研修が入るとなるともっと大変で体制が細切れになる。理事会から、「姉妹園の

つも人手不足だが、主任がどうにか体制を組んでなんとか回っている状態。そこに処遇改善Ⅱの研修が入るとなるともっと大変で体制が細切れになる。理事会から、「姉妹園の三ツ井から、パートを送ればそれでいいよね?」と言われ、疑問を感じた。さらに23年度からの予算案で、主任を取り入れていないのは、かもめと三ツ井のみ。理事会側は、運動の成果でもあるのだからもらえるものはもらって欲しいと言う。それも理解はできるが、現場で働く職員の思いに焦点を当ててほしい。納得のいく方向にしていきたい。

④中中村東支部 犬飼地
本委員（やだ分会）未組
織訪問

中中村東支部で、障害分野のやまびこ作業所がはじめていない、どうしたらよいかと思つていた。また未組織訪問もできてなかつた。支部役員も未組織訪問経験がないため、地本に相談し、法人内に『おじやまします行動』を



なれた。未組織訪問もできてなかつた。支部役員も未組織訪問経験がないため、地本に相談し、法人内に『おじやまします行動』を



しかし訪問場所の「び」のびクラブは守山区だつたので、北守山支部と合同で訪問した。めいほく障害部分会の方も来て、和氣あいあいと話せた。

のびのびさんから「障害児メインなので、障害者施設で働く方たちとつながりを持つのは難しい」と題した学習会&交流会が開催されまし。ある一人の青年部員の「どうしたら自分も相手も気持ちいいコミュニケーションが取れるんだろう…」という悩みがきっかけとなつた今回の企画。その時に受けたアサーションの学習会がとてもよく、「この悩みつてきっとどこでもあるよね」「ぜひみんなに知つてほしい！」と、

2月20日（日）、青年部主催で「アサー・ションについて学んだよ～」と題した学習会&交流会が開催されました。今年から、名南支部にままでの自分でいい」と題した学習会&交流会が開催されました。ある一人の青年部員の「どうしたら自分も相手も気持ちいいコミュニケーションが取れるんだろう…」という悩みがきっかけとなつた今回の企画。その時に受けたアサーションの学習会がとてもよく、「この悩みつてきっとどこでもあるよね」「ぜひみんなに知つてほしい！」と、

当日は、7分会11名が参加し、講師に産業カウンセラーの大須賀しづかさんを迎へ、それぞれニッケルームで呼び合いながら、楽しく和気あ

【シリーズ・名物組合員】by青年部 ～アサー・ションについて学んだよ～

いよいよ話す中で、お互いの思いや悩みも共有し合いました。すると、「それ分かる！」「これは違うのか」といろいろな意見が飛び交い、あつとう間に時間が過ぎてしましました。

こうやって自分の思いを大切にしながらもしつかり出していくことはや、伝え合つて違いを知ることも大事なことだと改めて気づくことができました。また参加した人からも「こんな自分もいるんだと気がつけた」「少し気が楽になった」と交流を通しての感想が多く聞かれ、私自身も本当に参加してよかったです。

⑤ゆたか分会 小澤地本委員 分会活動について
今年から、名南支部に入つたゆたか分会です。

障害協は、定例会はZoom

間としてZoom交流会をしてますはつながりたいと思つた。未組織訪問は、すぐに組織拡大につながらなくとも、まずは組合のことを知つてもらうことが大切と感じた。堅苦しく感じる未組織訪問も「おじやまします」と思え

ばやりやすい。他の支部とも交流を持つ機会にもなつた。Zoom交流会も、事終わりに参加してくれ16名が集まつた。プライベートや趣味の話もでき

て、対面は減つたが岐阜の仲間とつながりができるのはいいところ。幹事会の中で岐阜県内の仲間の現場実態を出しながら、要望書を作成して岐阜県労連と共に岐阜県や労働局へ要請行動などできたのは大きい。

また、1／11は滋賀支部や石川・福井の北陸仲間とオンライン交流会を開いた。なかなか交流のない他県の人と繋がれた。福井の参加者はこうやつて話せる場があるといいと語っていた。

⑥さくらんぼの余分会 濱田地本委員 障害協活動報告
まず、発言のはじめに、

三重県亀山市や千葉県

流山市などで議員提案で

争っていた星野先生に久々

に会えて嬉しい。繋がり

があるのも感慨深い。

てみんなの一面向が知れた。

自分が通つていた港かも

め保育園で、福保労で闘

動をしていく。

三重県亀山市や千葉県

施設の9割以上が、一人

勤めがつた。全国的な

動きが広がつていくと良

いなと思う。

今後は、幹事会でZoom

を活用しつつも対面でも

話をしていきたい。5月

のグリフェスの午前中で

ボッチャをやりたいと話

している。

今後は、幹事会でZoom

を活用しつつも対面でも

話をしていきたい。5月のグリフェスの午前中でボッチャをやりたいと話している。

今後は、幹事会でZoom

を活用しつつも対面でも

話をしていきたい。5月

のグリフェスの午前中で

ボッチャをやりたいと話

している。

今後は、幹事会でZoom

を活用しつつも対面でも

話をしていきたい。5月のグリフェスの午前中でボッチャをやりたいと話している。

今後は、幹事会でZoom

を活用しつつも対面でも

話をしていきたい。5月

のグリフェスの午前中で

ボッチャをやりたいと話

している。

今後は、幹事会でZoom

を活用しつつも対面でも

話をしていきたい。5月

